

第2回 徳山駅周辺まちづくりシンポジウム

基調講演 テーマ「生活貧乏からの脱出—まちに居場所をつくる—」



講師
篠原 修
(しのはら おさむ)

政策研究大学院大学教授
土木設計家

1945年生まれ、神奈川県出身。
東京大学土木工学科卒業。同大学院修士課程修了。
東京大学農学部助手、建設省土木研究所主任研究員、
東京大学農学部助教授、同工学部助教授、同教授を経て現職。
専門は景観デザイン、設計・計画思想史。
おもな著作に「土木景観計画」(技報堂)、「土木造形家百年の仕事」(新潮社、土木学会出版文化賞)、「土木デザイン論」(東京大学出版会、土木学会出版文化賞)、「都市の水辺をデザインする—グラウンドスケープ群団奮闘記」、「新・日向市駅 GS群団総力戦 関係者が熱く語るプロジェクトの全貌」(編共著、彰国社)などがある。

おもなプロジェクト(設計指導・監修)に中央線東京駅高架橋(東京都、土木学会デザイン賞最優秀賞)、隴大橋(福岡県、土木学会デザイン賞優秀賞、田中賞)、津和野川護岸・広場(島根県、土木学会デザイン賞優秀賞)、桑名・住吉入江(三重県、土木学会デザイン賞優秀賞)、日南油津・堀川運河(宮崎県)、日向市駅(宮崎県)などがある。

パネルディスカッション テーマ「後世に何を残すか」



パネリスト
内藤 廣
(ないとう ひろし)

建築家
東京大学大学院教授

1950年生まれ、神奈川県出身。
早稲田大学理工学部建築学科卒業。同大学院修了。
フェルナンド・イゲラス建築設計事務所、菊竹清訓建築設計事務所を経て、1981年内藤廣建築設計事務所を設立。2001年東京大学大学院助教授、2002年から現職。
主な作品に「海の博物館」、「安曇野ちひろ美術館」、「牧野富太郎記念館」、「島根県芸術文化センター」、「日向市駅」、「高知駅」。
主な著書に「建築のはじまりに向かって」、「建築的思考のゆくえ」、「建築のちから」(全て王国社)などがある。
芸術選奨文部大臣新人賞、日本建築学会賞、吉田五十八賞(海の博物館)、村野藤吾賞、毎日芸術賞(牧野富太郎記念館)、プルネル賞(日向市駅)等を受賞。



パネリスト
羽藤 英二
(はとう えいじ)

東京大学大学院准教授

1967年生まれ、愛媛県出身。
広島大学卒業。
日産自動車、愛媛大学助手、MIT、Leeds大学、カリフォルニア大学客員教授などを経て現職。ネパール工科大学客員教授、愛媛大学客員准教授を兼任。
専門は交通計画、都市計画交通行動モデルに関する理論的研究の成果で、世界交通学会賞、交通工学論文賞、交通工学技術賞、土木学会論文奨励賞などを受賞。
主な著書に「交通まちづくり」(丸善)などがある。近年は、松山の道後温泉駅周辺交通-景観計画や、札幌における自転車共同利用システムの社会実験、しまなみ海道におけるアーティストインレジデンス活動、牧野富太郎の道を歩くのツーリズムデザインといった実践的な知育づくり活動も展開している。

パネリスト
藤井 英雄
(ふじい ひでお)

徳山商工会議所 会頭
徳山海陸運送(株) 代表取締役
徳山港振興会 会長
徳山駅周辺デザイン会議委員

パネリスト
村越千幸子
(むらこし ちさこ)

山口県建築士会 徳山支部 支部長
1級建築士事務所 村越ちさこ設計室
山口県景観アドバイザー
徳山駅周辺デザイン会議委員

パネリスト
筒井 祐治
(つつい ゆうじ)

国土交通省 中国地方整備局 建設部 都市調整官

コーディネーター
篠原 修
(しのはら おさむ)

政策研究大学院大学教授
土木設計家
徳山駅周辺デザイン会議会長